



小谷元彦《Ruffle(Dress04)》2009-10年

# 小谷元彦展

Odani Motohiko Phantom Limb

## 幽体の知覚

2011年 5月28日[土] - 7月10日[日]

静岡県立美術館

開館時間：午前10時 - 午後5時30分（展示室への入室は午後5時まで）

休館日：毎週月曜日

観覧料：一般 900円(700円)、70歳以上 400円(300円)、大学生以下無料

\*（ ）内は前売及び20名以上の団体料金。 \*収蔵品展、ロタン館も併せてご覧いただけます。

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

主催 = 静岡県立美術館、静岡朝日テレビ 協力 = 山本現代 企画協力 = 森美術館

風景とロダンの  
静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art



【ファントム・リム】部分 1997年 所蔵：高橋コレクション  
Photo Courtesy: YAMAMOTO GENDAI

小谷元彦(1972年-)は、東京藝術大学で彫刻を学んだ後、彫刻、写真、ビデオ等さまざまなメディアを用いて、従来の彫刻の常識をくつがえす作品を発表してきました。その造形表現と美意識は高い評価を受け、2003年にヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表の一人として選ばれるなど、国内外でめざましい活躍を見せています。

小谷は、痛みや恐怖などの身体感覚や精神状態をテーマに見る者の潜在意識を刺激するような作品を制作します。毛髪を編んだドレスや拘束器具をつけた動物、異形の少女、屍のような武者の騎馬像など、一つの解釈に帰着しえない多層的なイメージは、美と醜、生と死、聖と俗の境界線上で妖しい魅力を放ちます。

彫刻というメディアのもつ性格に対して鋭敏な意識をもつ小谷は、彫刻特有の量感や物質性を逆にとるかのように、実体のない存在や形にできない現象、すなわち「幽体」(ファントム)をとらえ、その視覚化を試みてきたといえます。この展覧会では、10年以上にわたって発表されてきた小谷の初期作品から最新作までを一堂に集めるほか、「映像彫刻」とも呼ぶべき体験型の大型映像インスタレーションを紹介しします。

なお、本展は、2010年11月~2011年2月に森美術館で開催された同タイトルの展覧会を、静岡県立美術館の展示空間にあわせて再構成したもので、森美術館では未発表の新作映像インスタレーション1点が出展される予定です。

ロダンをはじめ近代彫刻史の展開を紹介するコレクションが並ぶ美術館で、小谷の表現は、彫刻の概念を拡張するにとどまらず、美術そのものの新たな魅力と可能性を提起してくれることでしょう。 ※出展作品は都合により変更になる場合があります。

### 小谷元彦 PROFILE

1972年、京都府生まれ。1997年に東京藝術大学大学院美術研究科修了。ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館(2003年)をはじめ、リヨン現代美術ビエンナーレ(2000年)、イスタンブール・ビエンナーレ(2001年)、光州ビエンナーレ(2002年)など数多くの国際展に出品。主な個展に、「モディフィケーション」(キリンプラザ大阪、2004年)、「小谷元彦/Hollow」(メゾンエルメス、2009-2010年)、主なグループ展には、「日本ゼロ年」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、1999年)、「現代美術の皮膚」(国立国際美術館、2007年)、「ネオテニー・ジャパン」(鹿児島県霧島アートの森/札幌芸術の森美術館/上野の森美術館・2007-2008年)などがある。

#### 【静岡市美術館のご案内】

ハンス・コバー展 -20世紀陶芸の革新  
4月9日(土)~6月26日(日)  
お問い合わせ：静岡市美術館 054-273-1515(代表)

#### 【SPAC(財)静岡舞台芸術センターのご案内】

「ふじのくににせいかい演劇祭2011」  
6月4日(土)~7月3日(日)  
小谷元彦展の半券提示でチケット4000円が3500円に!  
お問い合わせ：054-202-3399 <http://www.spac.or.jp>

#### 【当館次回展覧会】

開館25周年記念 芸術の花開く都市展  
-パリ、ローマ、東京、京都。その都市でしか生まれない芸術-  
7月19日(火)~9月8日(木)



〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 Tel.054-263-5755 FAX.054-263-5742  
ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>  
携帯電話サイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/i/>

お問合わせ 総務課 .....Tel.054-263-5755  
学芸課 .....Tel.054-263-5857  
テレフォン・サービス .....Tel.054-262-3737



森美術館展示風景  
Photo Courtesy: Mori Art Museum  
Photo: Kioku Keizo



【SP4 ザ・スペクター — 全ての人の脳内で徘徊するもの】  
2009年  
Photo Courtesy: YAMAMOTO GENDAI / Mori Art Museum  
Photo: Kioku Keizo



【インフェルノ】 2008-10年  
Sound: Takashima Kei  
Production support: Stitch Co. Ltd., McRAY  
Photo Courtesy: Mori Art Museum  
Photo: Kioku Keizo



【フィンガージュバンナー】  
1998年  
所蔵：金沢21世紀美術館  
Photo Courtesy: Mori Art Museum  
Photo: Kioku Keizo

### 会期中イベント

トークショー【講堂】 5月28日(土)15:00~16:30

「生と死、聖なるものと俗なるもの(仮)」

小谷元彦(美術家・彫刻家) × 植島啓司(宗教学者)

\*定員250名 \*申込不要・先着順・無料

担当学芸員によるフロアレクチャー【展示室】

6月11日(土)、7月3日(日)14:00~15:00

当館学芸員が展示室にて展覧会の解説を行います。

集合場所：企画展第1展示室(観覧料が必要です。)

その他のイベント情報については、詳細が決まり次第HPにてご案内いたします。  
<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

### チケット販売所 前売券5月27日(金)まで販売

#### 【前売・当日券】取扱

チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブン(Pコード共通:764-617)、ローソンチケット(Lコード:41159)、グランシップ、静岡県立美術館

#### 【前売券のみ】取扱

大和文庫、戸田書店(静岡本店・江尻台店)、江崎書店(パルシェ店)、谷島屋(呉服町本店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県立大学売店、静岡大学生協、静岡県庁本館1階売店、JR草薙駅前一部店舗

#### 託児サービス(無料)

土・日曜日、祝日にご利用いただけます。(11:00~16:00)[対象年齢:6ヶ月以上~小学校就学前] 集中した場合はお受けできない場合がございます。

#### 交通案内

- ◆JR「草薙駅」から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(料金100円)
- ◆JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- ◆JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
- ◆静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
- ◆東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分